

卵巣ガン

50代 女性

卵巣ガン ステージ4 腫瘍4cm
胸水 併発

水素吸入 4200ml/分 毎日5時間吸入。
抗がん剤の副作用が軽減。想像していたよりもかなり軽いそうです。

再検査後

胸水 治癒

腫瘍4cm → 2cm 半分に縮小。

腫瘍マーカー CA125

3000台 ⇒ 60代 に 大幅に低下



お客様からのメッセージです。

卵巣は「沈黙の臓器」と呼ばれる臓器のひとつで、卵巣癌が発見された時はかなり進行してる状態の人が多いそうです。私もそのケースで、お腹の張りが酷くなって病院に駆け込み癌と判明しました。その時点で卵巣から腫瘍がお腹に転移していて腹水が溜まっていたのです。緊急入院で3ℓ腹水を抜いたものの、入院中お腹全体は熱を帯びており、恐怖を覚えるほど。すぐに抗がん剤投与を開始。退院時もお腹の張りは強く、医師からは「お腹全体に腫瘍が点在している状態で、数も多く手術はできない状態。今後は腫瘍の減り方によって手術が可能になる。」と言われました。退院後は毎日懸命に水素ガスを吸入。2週間後かなりお腹の張りが減り、うつ伏せ寝もできるようになっていました。通院治療もしながらの2ヶ月で腫瘍の数が手術ができるまでに減っています。これまでの間、体がどんどん楽になり自分が癌患者である事を忘れる程でした。このように水素吸入の効果は大いに体感していたものの、検査で出た数値からも、まさに副作用のない抗がん剤である水素ガスの効果を経験しました。